

(公財)神戸大学六甲台後援会だより

(35)

本財団の活動の在り方をめぐる新しい動き

最近中央教育審議会は、グローバル化が加速し、それに伴った社会経済環境の変化に対応するための大学改革の提案を相次いで発表しています。改革を実現するには、まず学長の権限を強化することが必要とし、次のようなことが考えられています。まず、学長選考は従来、主として教職員の投票による選挙によって決められていましたが、これからは地域関係者や卒業生なども入れた新しい組織で決める。次に学長の任期をより長期化する。その上で、学長が自由に使える裁量経費を確保し、学長を補佐する総括副学長制を設け、更に従来、大学の意思決定機関と目されていた教授会の権限・機能を縮小する等々がそれぞれです。

それだけではありません。幸いにして先般神戸大学も文科省が選定した22の研究大学・研究機関の中に入り、年間2億円の助成金を10年間(ただし5年後に中間審査があり、その評価によって打切りになることもありえます)与えられることになりました。国立大学への文科省からの資金支援は、このように業績評価を中心に行われることになってきましたが、今後は更にこの方針が強化されることになりそうです。先日文科省は、国立大学法人への運営費交付金の3、4割を主として自然科学系の研究成果に応じて配分することにしたと発表し

ました。こうした方向づけは、すべてグローバルな経済競争力の強化に役立つと考えられている科学・技術的なイノベーションを実現することを目的にしています。しかし、願望されるイノベーションは自然科学系の研究に財政支出を増やすだけで速効の成果が上がる訳ではありません。独創的な研究者になるためには、リベラル・アーツを十二分にマスターした人であることが望ましいといわれます。更に科学・技術の革新のためには、それを誘導・促進するような経済的・政治的構造を創出することも必要です。そのためには、何よりも社会科学や人文科学などの充実・発展が保証されていることが望まれます。

いまグローバルゼーションの展開の中で必要としているのは、こういう認識に対応することだと思われれます。もともと、わが六甲台後援会は、旧制大学だった時には、在外研究でも、国内での研究・教育においても比較的恵まれた財政的保障を得ることができたのに、新制大学になってからは、その保障が必ずしも与えられなくなりました。そこで、それを補完するために特別な財団をつくって支援しようということで作られました。当財団運営の基本方針は、その考えのもとにつくられ、今日まで、先生方の在外研究や出版助成などを中心に運用され、それなりの大きな成果を上げてきました。もちろん、長年の運用の中で少しずつ環境変化に即応する工夫もされてきました。最近では、凌霄賞の新設などに象徴されるように、かなり大きく追加しています。しかし、ここで取り上げたような文科省の政策の変化、それを生み出した世界の大学間競争の激化、わが国内の大学間競争の展開などに対応するためには、わが六甲台後援

会の在り方も根源的に再検討すべきではないかとの意見が湧出するようになってきました。これから高崎新理事長のもと、中野常務理事を中心に役員会で慎重な模索が始まりますが、これは非常に有意義な発想だと思っています。

金谷康彦さんから水島先生の掛軸寄贈

先号で、本年は神戸高商時の水島鍊也先生の生誕150周年に当たることについてふれました。こうした報告に呼応して、この度、凌霄会北九州支部長で、昭和30年経営学部卒（丹波ゼミ）の金谷康彦さんから水島先生ご揮毫の掛軸寄贈を受けることになりました。それは明治41年神戸高商卒の大先輩から譲り受けられたものようです。金谷さんは、ある女性の勧めで神戸大学を受験されたのですが、この方のご主人は水島先生と一橋時代の親友で、この女性も水島先生のご夫人と同じお茶の水の同期で親友とのことですから、不思議なご縁でもあります。水島先生の生誕150周年をどういう形で記念するかの詳細は目下検討中ですが、いづれ皆さんにもご覧頂けるようにはしたいものと考えています。ご期待ください。

皆さんからのご寄附に感謝

毎号皆さんからの尊いご寄附について謝意を表していますが、今回も多数の方々からご寄附を頂きました。匿名希望者様（昭35・法）200万円、辻雄史様（昭34・法）2万円、高崎正弘様（昭34・経営）10万円、鶴浩一様（昭32・経済）5万円、佐藤禎雄様（昭31・法）5万円、福嶋正彦様（昭34・経営）30万

円、末廣雅彦様（昭36・経済）10万円、新野幸次郎様（昭24）50万円、木村正則様（昭50・経済）10万円、松岡三郎様（昭35・経済）10万円、三宅基治様（昭44・経済）3万円、稲垣滋様（昭45・経済）5万円、水島昇様（昭51・法）5万円のほか、前号で報告したイレブン会（昭38・法・経済・経営学部11回生）168名の皆さん（個人名は別記クラス会だよりに掲載）から103万4876円、また、昨年度に引き続き六甲台五部局の先生方（法学研究科56名、経済学研究科48名、経営学研究科54名、国際協力研究科26名、経済経営研究所16名）計200名から60万9000円がそれです。

なお、五部局の先生方には、今までもご紹介しましたように、公益財団法人としての六甲台後援会が比較的少額ご寄附について皆さんのご寄附金額が税額控除の対象になるようにするためには、毎年本会へのご寄附人数が3千円以上の方が100名以上ないといけないということもあって、お願いしてご寄附を頂いているものです。近いうちに、この税額控除の条件確保のためには、先生方だけでなく、凌霄会員の皆さんで最低年3千円をご寄附くださる方を100人以上確保できるようにしなければいけません。そのこともご了解いただき、皆さんどうか、ご協力をお願いいたします。

お蔭さまで、平成25年度に皆さんから784万3876円のご寄附を頂いたことになり、平成16年度特別にご寄附をお願いしてから、皆さんから頂いたご寄附総額は約2億9232万円余にもなりました。ありがとうございました。

先日高崎理事長から今後は皆さんのご寄附に便利なように振

込用紙を同封してはどうかという問題提起も頂きました。先述
しました税額控除との関連もあり、そのうち役員会でも相談さ
せて頂こうと思っております。

いつも書かせて頂いていますように、寄附金の送り先は次の
通りです。よろしくお願いいたします。

◎銀行送金の場合（銀行からの通知がどうしても遅くなり、領
収書等のご送付が遅れる可能性がありますので、ぜひご送金
のことを事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入くだ
さい）

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局


電話・FAX (078) 861-3013

E-mail:rokkodaiund@kobe-u.com

地域のみなさまと ともに歩みます

～金融・情報サービスの提供を通じて、地域に貢献します～



 みなと銀行

<http://www.minatobk.co.jp>

想いを、まちへ。